

ifi

IDSD
GR 2

ユーザーマニュアル

このたびは、iDSD GR 2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

iDSD GR 2は、超高解像度オーディオに対応したポータブルDAC+ヘッドホンアンプです。

iDSD GR 2は、iFiの最も人気のあるDACの一つである象徴的なデザインを継承しつつ、新世代に向けてその限界をさらに押し広げています。全く新しいDACチップセットとアーキテクチャにより、かつてないほど素晴らしいサウンドの可能性が広がりました。また、新開発のタッチコントロールとiFi Nexisとの互換性により、どこにいてもすべての機能を指先ひとつで操作できます。

ロスレスBluetoothを含む多彩なデジタル/アナログ入力オプションに加え、外出先でも音楽を楽しむオーディオファンに向けた数々の革新的な機能を備えたiDSD GR 2は、当社がこれまでに製造した中で最も汎用性の高い、真のポータブルDACです。

特徴

デジタル

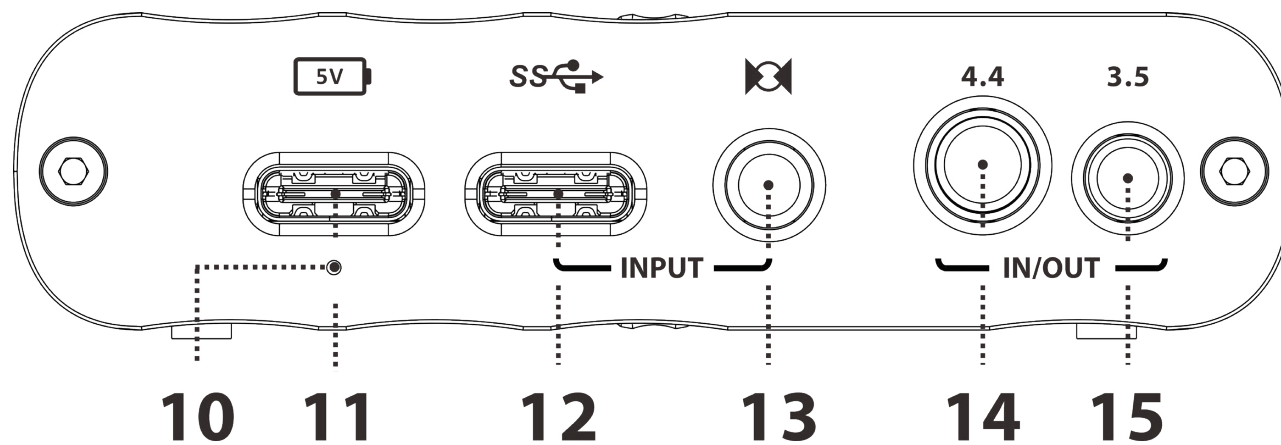
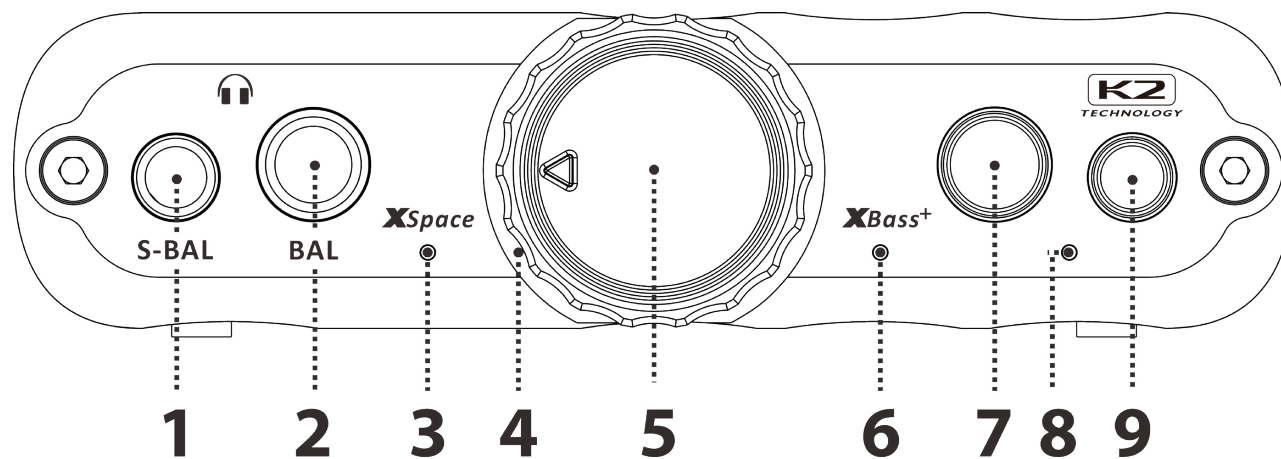
- まったく新しいBurr Brown製PCM1795 DACチップセットとアーキテクチャにより、妥協のない音質性能を実現
- aptX Lossless Bluetoothコーデックにより、データ損失のないCD品質のオーディオ再生が可能
- 幅広いデジタルフィルターに加え、JVCKENWOODの「K2テクノロジー」および「K2HD」による高調波復元機能
- デスクトップPCやホームオーディオシステムへの統合を可能にするSPDIFを含む、多彩なデジタル入力オプション

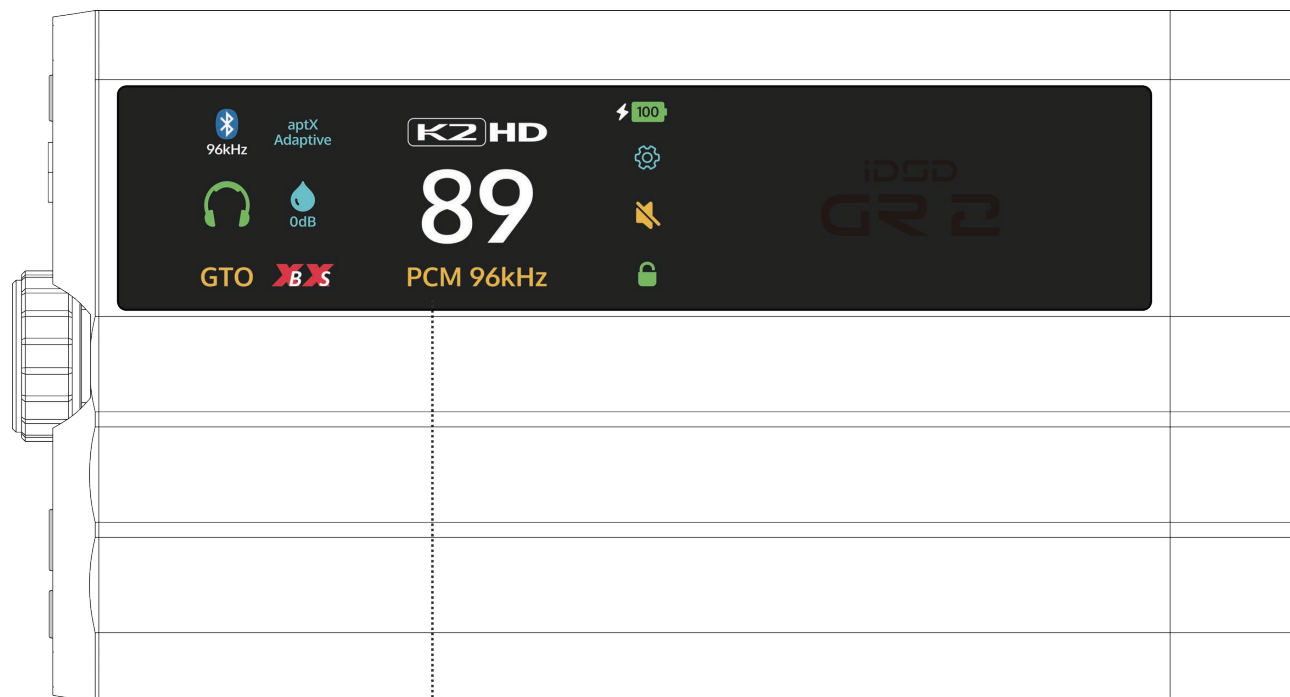
アナログ

- コンパクトでポータブルな筐体ながら、最大ピーク出力2,173mWという圧倒的なパワーを実現
- 感度の高いIEM(インイヤーマニター)向けに出力を最適化する「iEMatch」を含む、3つの異なるパワーモード
- 新型ディスクリートアンプ回路が歪みを最小限に抑え、爆発的なダイナミクスと水晶のように澄んだ透明感を実現
- 様々なセットアップや用途に対応する汎用性の高いアナログ入力オプション
- サウンドステージを微調整できる「XSpace」および「XBass+」アナログフィルター

概要

- 鮮やかなOLEDディスプレイと静電容量式タッチコントロールを搭載し、本体機能に素早くアクセス可能
- iFi Nexisアプリに対応し、シームレスなアップデートや追加機能を利用可能
- 4,900mAhのバッテリーにより、最大7時間の再生時間を実現
- バッテリーヘルス機能とハイブリッド電源オプションにより、バッテリーの長期的な寿命を最大化



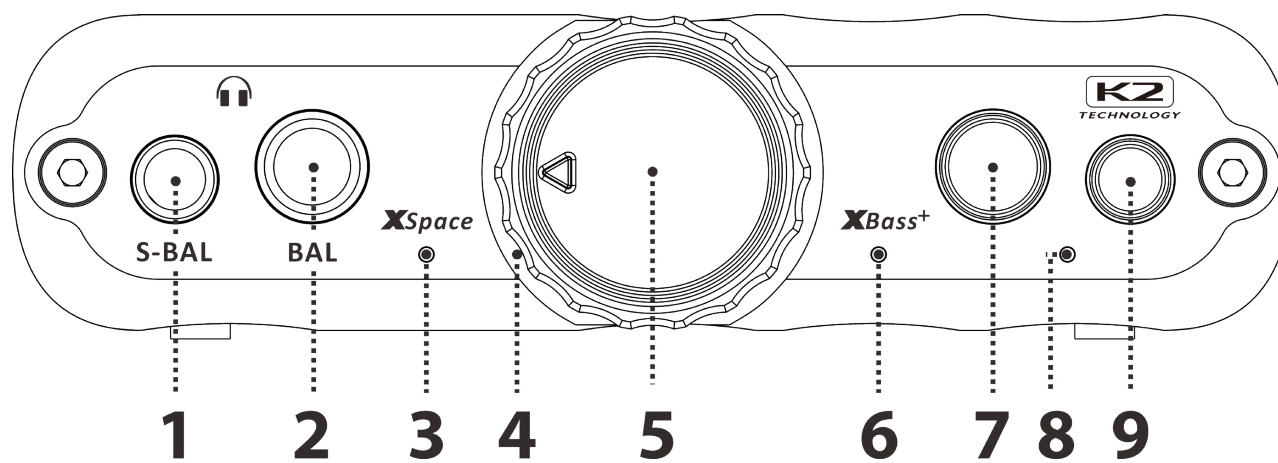


16

1. S-Balanced 3.5mmヘッドホン出力またはライン出力端子(切り替え可能)	P.9
2. 4.4mmバランス型ヘッドホン出力またはライン出力端子(切り替え可能)	P.10
3. XSpace Matrix LED	P.11
4. 音量LED	P.11
5. マルチファンクションダイヤル	P.12
電源オン/オフ	P.12
アナログ音量調節	P.13
ミュート／ミュート解除	P.13
6. XBass+ LED	P.14
7. XSpace/XBass+/メニュー設定ボタン	P.14
XSpace/XBass+の選択(アイコンを短く押すかタップする)	P.14
メニュー設定(3秒以上長押し、またはアイコンをタップ)	P.16
I) Bluetoothペアリング	P.17
II) デュアルチャージ(デュアルポート充電)	P.17
III) ハイブリッドモード	P.18

IV) バッテリーヘルスモード	P.18
V) Bluetooth音声案内	P.21
VI) ライン出力音量調節	P.21
VII) 音量同期	P.21
VIII) 音量フェード	P.21
IX) 明るさ	P.22
X) 情報	P.22
XI) 工場出荷時設定へのリセット	P.23
8. K2/K2 HDテクノロジーモードLED	P.24
9.入力切替／K2 HD テクノロジー設定ボタン	P.24
入力切替(短押し)	P.24
K2 HDテクノロジー設定(長押し)	P.25
10. バッテリー状態LED	P.27
11. USB-C (5V) 充電入力端子	P.28
12. USB-Cデータ入力端子	P.28

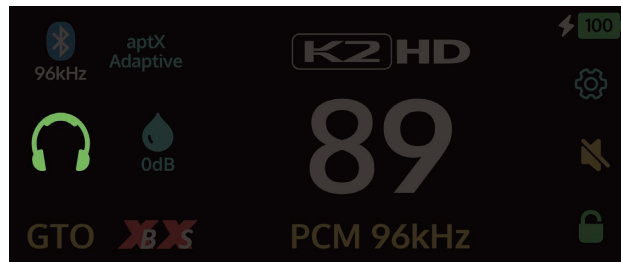
13. S/PDIF 3.5mm同軸/光入力端子	P.29
14. バランス型4.4mmライン入出力端子	P.29
15. シングルエンド3.5mmライン入出力端子	P.29
16. OLEDディスプレイ	P.31
17. 電源モード	P.31
18. デジタルフィルターモード	P.32
19. Bluetoothコーデック	P.33
20. デバイスのロック	P.34
iFi Nexisアプリを使ってiDSD GR2をセットアップ	P.35
注意事項	P.36
長時間の熱暴露	P.36
仕様	P.37



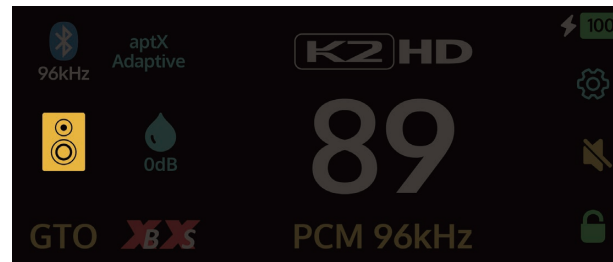
1. S-Balanced 3.5mmヘッドホン出力またはライン出力端子(切り替え可能)

a) ヘッドホン出力：メイン画面に表示されている出力モードをヘッドホン出力モードに切り替えた場合（ヘッドホンまたはスピーカーのアイコンをタップし、スワイプして切り替えます）、この接続端子を3.5mmシングルエンドまたはバランス型ヘッドホン（標準TRS構成に対応）にご利用ください。

b) ヘッドホンライン出力：メイン画面に表示されている出力モードがライン出力モードに切り替わっている場合（ヘッドホンまたはスピーカーのアイコンをタップし、スワイプして選択して切り替えます）、このポートは3.5mm > RCAまたは同様のシングルエンド接続を介してアナログライン出力を提供し、ボリュームコントロール付きのアクティブスピーカーやアンプに接続してアナログ出力を得ることができます。



ヘッドホン出力モード



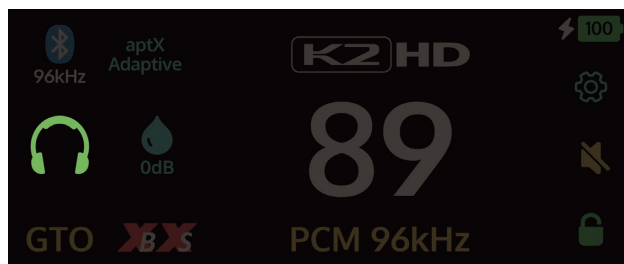
ライン出力モード

※iFi独自のS-Balanced回路により、シングルエンド型およびバランス型のヘッドホン双方で最高のパフォーマンスを発揮します。

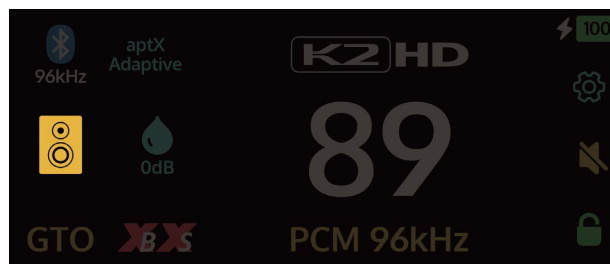
2. 4.4mmバランス型ヘッドホン出力またはライン出力端子(切り替え可能)

a) ヘッドホン出力：メイン画面に表示されている出力モードがヘッドホン出力モードに切り替わっている場合（ヘッドホンまたはスピーカーのアイコンをタップし、スワイプして切り替えます）、4.4mm バランス型ヘッドホンを接続する際にこの端子を使用してください。

b) ヘッドホンライン出力：メイン画面に表示される出力モードがライン出力モードに切り替わっている場合（ヘッドホンまたはスピーカーのアイコンをタップし、スワイプして選択して切り替えます）、このポートは4.4 > XLRまたは同様のバランス接続を介したアナログライン出力を提供し、ボリュームコントロール機能付きのアクティブスピーカーやアンプにアナログ出力として接続できます。



ヘッドホン出力モード



ライン出力モード

※iDSD GR 2はバランス接続方式を採用しているため（左右のチャンネルを完全に分離することで、信号経路におけるノイズやクロストークを低減します）、4.4mm出力のご使用をお勧めします。

3. XSpace Matrix LED

XSpace Matrixホログラフィック音場インジケーター：ボタン(7)を短く押すと、XSpace Matrixのオン/オフを切り替えられます。インジケーターが点灯している場合は、XSpace機能が有効になっていることを示しています(XSpaceに関する詳細は、項目7を参照してください)。

同時に、ホーム画面上のXSpaceアイコンが点灯します。また、ホーム画面のXSpaceアイコンをタップすることでモードを切り替えることもでき、アイコンはリアルタイムで更新されます。

4. 音量LED

LEDの色によって、現在の音量レベルが表示されます。

LED	音量表示
点滅	ミュート
青	1～17
マゼンタ	18～37
シアン	38～57
緑	58～75
黄色	76～90
赤	91～100

5. マルチファンクションダイヤル

操作機能:

- 電源オン/オフ (3秒間長押し)
- アナログ音量調節 (回す)
- ミュート/ミュート解除 (短押し)*

- メニュー設定

*SPDIF/ライン入力モードでのみ有効

- 一時停止/再生 (1回短押し)*
- 前の曲 (3回短押し)*
- 次の曲 (2回短押し)*

*USB/Bluetooth入力モードでのみ有効

電源オン/オフ

スイッチを3秒以上長押しして、電源をオン/オフします。

デジタル入力モードが選択されており、デバイスが充電されていない状態で、20分間連続してデータストリーム (オーディオ再生) がない場合、デバイスは自動的に省電力モードに入り、電源が切れます。



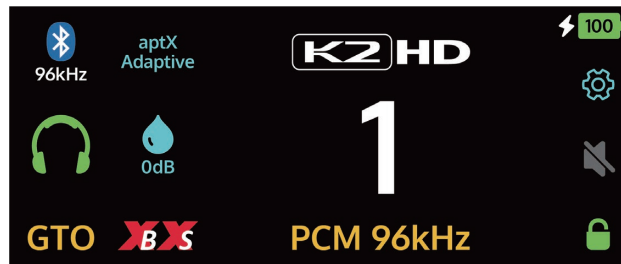
オン



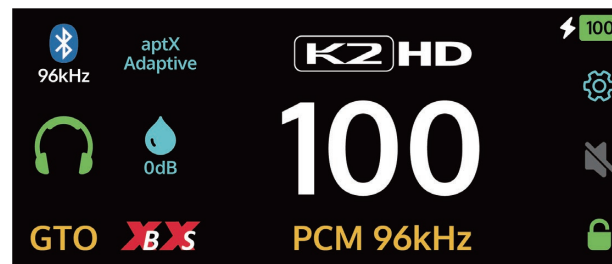
オフ

アナログ音量調節

※iDSD GR 2は高出力であるため、ヘッドホンや聴覚への損傷を防ぐため、必ず低い音量から再生を開始してください。iFi audioは、誤った使用による聴覚や機器の損傷について一切の責任を負いません。



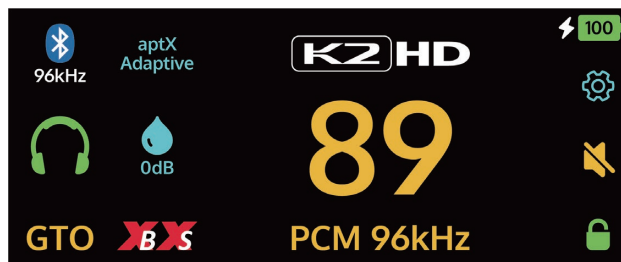
音量を下げるには、反時計回りに回転



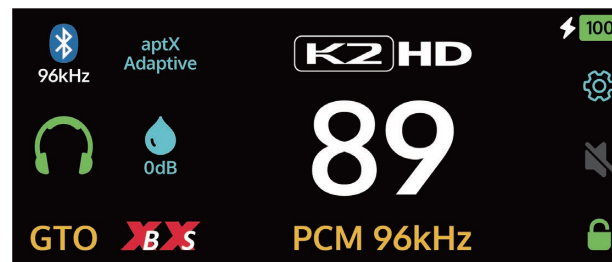
音量を上げるには、時計回りに回転

ミュート／ミュート解除

音を消すには、ミュートアイコンを短く押すか、音量ダイヤルを反時計回りに回して音量を0にします。音を戻すには、ミュートアイコンをもう一度短く押すか、音量ダイヤルを時計回りに回してください。



ミュート状態



ミュート解除状態

※端末がマナーモードになっているときは、音量LED(4)が点滅します。

6. XBass+ LED

XBass+インジケータ：ボタン(7)を短く押すと、XBass+のオン/オフを切り替えられます。インジケータが点灯している場合は、XBass+機能が有効になっていることを示しています(XBass+に関する詳細については、項目7を参照してください)。

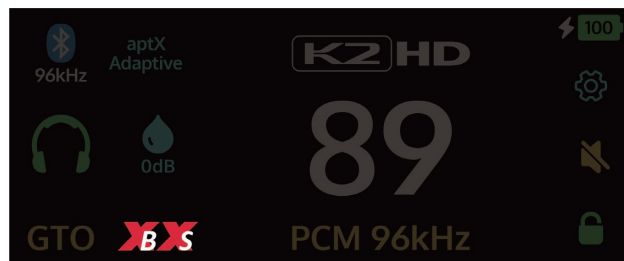
同時に、ホーム画面上のXBass+アイコンが点灯します。また、ホーム画面のXBass+アイコンをタップすることでモードを切り替えることもでき、アイコンはリアルタイムで更新されます。

7. XSpace/XBass+/メニュー設定ボタン

XSpace/XBass+の選択(アイコンを短く押すかタップする)

以下の順に切り替わります。

オフ > XBass+ > XSpace > XBass+ & XSpace



XBass+ & XSpace Mode



Off > XBass+ > XSpace > XBass+ & XSpace

XSpaceは、音楽に正しい空間定位感を取り戻すように設計された純粋なアナログ信号処理(ASP)回路であり、ヘッドホンで音楽を聴く際にも、まるでスピーカーから聴いているかのような感覚を実現します。これにより、使用中に音が不自然に感じられる原因となる「インヘッド効果」を解消します。

XBass+は、失われた低周波数特性を「ブースト」し、それによって元の録音をより正確に再現するように設計された純粋なアナログ信号処理(ASP)回路であり、デジタル信号処理(DSP)システムよりも優れた音質を提供します。XBass+は、ヘッドホンやスピーカーに本来備わっている低音域の不足を補正し、望ましいレベルを実現するように調整されています。これは、従来のトーンコントロールや音量調節とは異なります。

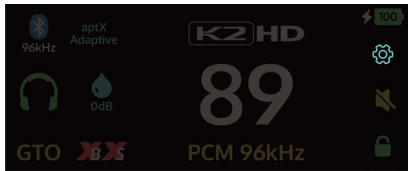
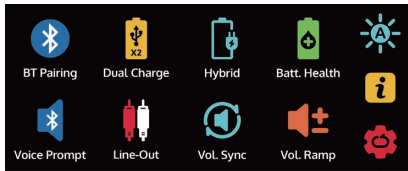
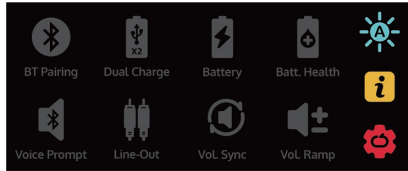
※XBass+もXSpaceマトリックスシステムも、音質を損なうDSPは一切使用していません。これらの機能は最高品質のディスクリート部品を採用し、完全にアナログ回路内で動作します。その結果、元の音楽の明瞭さと解像度を損なうことなく再現します。

※ヘッドホン用のXSpaceホログラフィーは、一部のハイエンドヘッドホンのアンプに見られるような標準的なクロスオーバーシステムに基づいたものではありません。いわゆる「3Dシステム」の多くは、一般的にDSPをベースとしています。これは音を人為的に変化させ、広々としたサウンドステージをシミュレートするために不要な残響を加えるものです。

従来のクロスフィードは「正面から聞こえる」ような音を生み出す傾向がありますが、空間的な要素が大幅に減少するため、サウンドステージが狭くなり、時にはほぼモノラルに近い状態になることもあります。DSPベースの3D設計の多くは、不自然なエコーのような音を生み出します。これは最初は印象的かもしれませんが、すぐに耳に負担を感じるようになります。

対照的に、ヘッドホン用XSpaceホログラフィックマトリックスは、音源を「頭の外」に配置するだけでなく、通常の部屋でスピーカーを聴いているのと非常に似た方法でサウンドステージ全体を再現します。これらすべてが、残響を追加することなく実現されています。

メニュー設定 (3秒以上長押し、またはアイコンをタップ)

 メニュー設定アイコンをタップ	 オン	 オフ
 Bluetoothペアリング	 デュアルチャージ	 ハイブリッドモード
 バッテリーヘルスモード	 Bluetooth音声案内	 ライン出力音量調節
 音量同期	 音量フェード	
 明るさ	 情報	 工場出荷時設定のリセット

※iDSD GR2には2つの操作モードがあります。1つはタッチスクリーンによる操作、もう1つは物理ボタンと多機能ダイヤルによる操作です。

a) メニュー画面では、画面上の該当するアイコンをタッチして設定を選択したり、オン／オフを切り替えたりします。

b) メニュー画面では、多機能ダイヤルを回して機能を選択し、短く押して選択を確定するか、オン／オフを切り替えます。

(7) または (9) を短く押すと、すぐにホーム画面に戻ります。10秒以内にデバイスで何の操作も行われない場合、メニューは自動的に終了し、ホーム画面に戻ります。

I) Bluetoothペアリング

Bluetooth入力を選択されると、画面上のBluetoothアイコンが点滅し、本機は以前にペアリングされたデバイスを検索します。登録済みのデバイスが見つからない場合、本機は自動的にペアリングモードに入り、Bluetoothアイコンは点滅し続けます。

手動でBluetoothペアリングモードに入るには、Bluetoothペアリングアイコンを短く押してください。ペアリングモードが有効になると、Bluetoothアイコンが繰り返し点滅します。ペアリングを行うには、スマートフォンなどのオーディオソースデバイス上で「iFi Lossless Audio」というBluetoothデバイスを探してください。

iDSD GR 2には、最大8台のペアリング済みBluetoothデバイスを登録できます。9台目のデバイスとペアリングを行うと、ペアリングリストから最も古いBluetoothデバイスが削除されます。そのデバイスを使用する際は、手動で再接続する必要がある場合があります。以前に登録されたすべてのデバイスを削除するには、工場出荷時設定へのリセットを行ってください。

※iDSD GR 2は、aptX Lossless、aptX Adaptive、aptX HD、aptX、LDAC、LHDC/HWA、AAC、SBCを介してBluetooth信号を受信します。

II) デュアルチャージ(デュアルポート充電)

アイコンを短くタップして、デュアルチャージのオン／オフを切り替えます。デフォルトではオフになっています。(12)を参照してください。

- | | |
|-----------|--|
| オン | このポートは、1つのUSB接続で充電とデータ転送の両方に対応しています(項目12)。 |
| オフ | このポートはデータ転送のみに対応しています。 |

III) ハイブリッドモード

アイコンを短くタップすると、ハイブリッドモードのオン/オフを切り替えることができます。デフォルトではオフになっています。

ハイブリッドモード

外部電源が接続されていない場合は、内蔵バッテリーから電力が供給されます。外部電源が接続されると、外部電源が優先されます。追加の電力が必要な場合、iDSD GR 2は内蔵バッテリーから電力を供給しますが、電力需要が減少すると自動的に外部電源を優先する状態に戻ります。

バッテリー専用モード

内蔵バッテリーのみを電源とします。

IV) バッテリーヘルスモード

アイコンを短くタップすると、バッテリーヘルスモードのオン／オフを切り替えられます。デフォルトではオフになっています。バッテリーヘルスモードが有効になっている場合、バッテリー残量が90%以上になると充電が停止し、残量が5%を下回るとiDSD GR 2は自動的に電源が切れます。

バッテリーヘルスモードは、内蔵バッテリーの充電電圧を均一化し、過充電や過放電の状態を軽減します。これにより、精密な管理とインテリジェントな均等化技術を通じて、バッテリー寿命の延長と充電効率の向上を図ります。また、充電中の温度と電圧を制御し、リチウムの分解や過熱を防止することで、安全性を確保します。

バッテリーヘルスモード	ハイブリッドモード	外部電源	状況
オン	ハイブリッドモード	YES	バッテリーの充電レベルが90%以上になると充電は停止します。バッテリーの充電レベルが70%以下になると、充電レベルが90%以上になるまで自動的に充電が行われます。
		NO	バッテリー残量が20%以下になると、現在のバッテリー残量が20%であることを示すメッセージが表示されます。バッテリー残量が10%以下になると、現在のバッテリー残量が10%であることを示すメッセージが表示され、iDSD GR 2は自動的に電源が切れます。
	バッテリー専用モード	YES	バッテリー残量が20%以下の場合、現在のバッテリー残量が20%であることを示すメッセージが表示されます。デバイスは、バッテリー残量が80%以上になるまで自動的に充電を開始し、80%以上になると自動的にバッテリー駆動モードに戻ります。
		NO	バッテリー残量が20%以下になると、現在のバッテリー残量が20%であることを示すメッセージが表示されます。バッテリー残量が10%以下になると、現在のバッテリー残量が10%であることを示すメッセージが表示され、iDSD GR 2は自動的に電源が切れます。

バッテリーヘルスモード	ハイブリッドモード	外部電源	状況
オフ	ハイブリッドモード	YES	バッテリーが満充電(100%)になると充電は停止します。バッテリー残量が90%以下の場合、デバイスは自動的にバッテリーを満充電(100%)まで充電します。
		NO	バッテリー残量が10%以下になると、現在のバッテリー残量が10%であることを知らせる通知が表示されます。バッテリー残量が0%になると、バッテリーが切れたことを知らせる通知が表示され、iDSD GR 2は自動的に電源が切れます。
	バッテリー専用モード	YES	バッテリー残量が10%以下になると、「現在のバッテリー残量は10%です」という通知が表示されます。デバイスは、バッテリーが満充電(100%)になるまで自動的に充電を行い、その後、自動的にバッテリーのみでの動作に戻ります。
		NO	バッテリー残量が10%以下になると、現在のバッテリー残量が10%であることを示すメッセージが表示されます。バッテリー残量が0%になると、バッテリーが切れたことを示すメッセージが表示され、iDSD GR 2は自動的に電源が切れます。

※「バッテリーヘルスモード」は、内蔵バッテリーの充電電圧をバランスよく調整し、過充電や過放電の発生を抑えます。これにより、精密な管理とインテリジェントなバランス調整技術を通じて、バッテリーの寿命を延ばし、充電効率を向上させます。また、充電中の温度と電圧を制御することで、リチウムの分解やデバイスの過熱を防ぎ、安全性を確保します。

V) Bluetooth音声案内

アイコンを短くタップすると、Bluetooth音声案内をオン／オフに切り替えることができます。デフォルトではオフになっています。

VI) ライン出力音量調節

アイコンを短く押すと、ライン出力音量調節のオン／オフを切り替えることができます。デフォルトではオフになっています。

ライン出力オフ ヘッドホン出力ポート(1) および(2) を使用している場合、ライン出力ポート(14) および(15) は自動的にミュートされます。ただし、ライン出力ポート(14) および(15) を使用している場合でも、ヘッドホン出力ポート(1) および(2) はミュートされません(ヘッドホン出力はライン出力よりも優先されます)。

ライン出力オン ヘッドホン出力ポート(1) および(2)、ならびにライン出力ポート(14) および(15) から、すべて同時に信号が出力されます。

VII) 音量同期

アイコンを短くタップすると、音量同期のオン／オフを切り替えることができます。デフォルトではオフになっています。有効にすると、iDSD GR 2のアナログ音量が、ソースデバイスの音量レベルと同期されます。

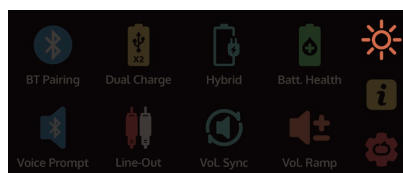
※音量同期機能は、USBおよびBluetooth入力でのみ利用可能です。一部のソースデバイスでは、音量同期に必要なデータを提供できない場合があります。

VIII) 音量フェード

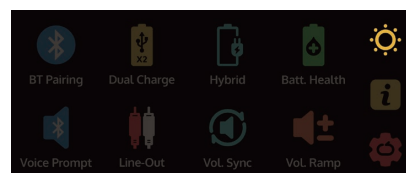
アイコンを短くタップすると、音量フェードのオン／オフを切り替えられます。デフォルトではオンになっています。有効にすると、音量の変化が2秒かけて滑らかに行われ、音量が急に跳ね上がるのを防ぎます。

IX) 明るさ

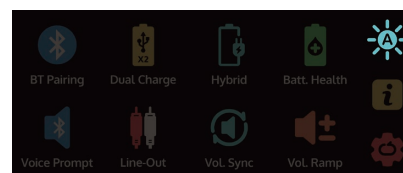
アイコンを短くタップして、明るさモードを調整します。デフォルトでは「ソフト」モードに設定されています。



ブライト



ソフト



オート

ブライト

画面が明るく表示されます。

ソフト

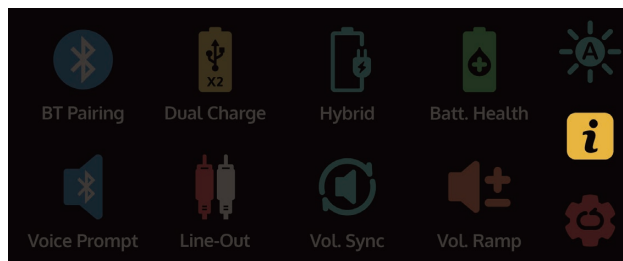
画面が柔らかな明るさで表示されます。

オート

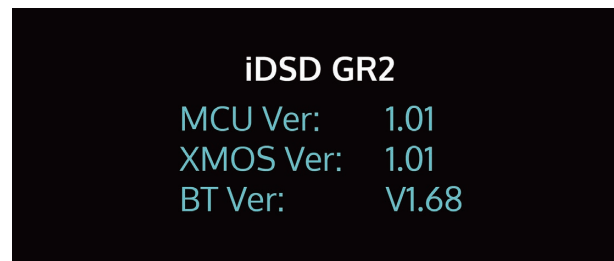
自動スリープモードです。10秒間操作がない場合、画面が消灯します。

X) 情報

アイコンを短くタップすると、デバイス名と現在のファームウェアのバージョン番号が表示されます。



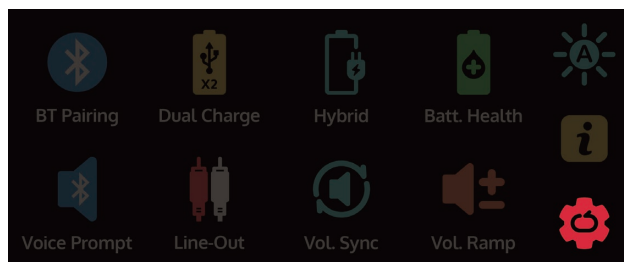
アイコンを短くタップ



情報

XI) 工場出荷時設定へのリセット

アイコンを短くタップし、「確認」を選択すると、工場出荷時設定へのリセットが実行されます。操作が正常に完了すると、デバイスが再起動します。



アイコンを短くタップ



確認

※工場出荷時設定へのリセットを実行すると、保存されているすべてのBluetoothペアリングが消去され、以下のデフォルト設定に復元されます。

入力モード:USB、音量:70、電源モード:「Normal 0dB」、XBass+:「オフ」、XSpace:「オフ」、デジタルフィルター:「STD」、デュアル充電:「オフ」、ハイブリッドモード:「オン」、バッテリーヘルスモード:「オフ」、Bluetooth音声案内:「オン」、ライン出力音量コントロール:「オフ」、音量同期:「オフ」、音量ランプ:「オフ」、輝度:「ソフト」。

8. 「K2 Technology」、「K2HD」モードLED

「K2 Technology」、「K2HD」モードインジケータ：ボタン(9)を短く押すと、K2/K2 HDのオン/オフを切り替えることができます。インジケータが点灯している場合は、K2/K2 HD機能が有効になっていることを示しています（「K2 Technology」、「K2HD」に関する詳細については、次のセクションをご覧ください）。

LED	モード
緑	K2
オレンジ	K2 HD
消灯	オフ

9. 入力切替／「K2 Technology」、「K2HD」設定ボタン

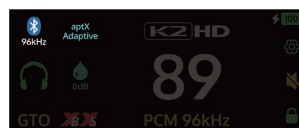
入力切替 (短押し)

ボタンを短く押すか、入力アイコンをタップすると、以下の入力ソースを切り替えることができます。

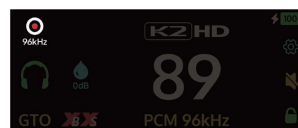
USB > Bluetooth > S/PDIF > ライン(4.4mm/3.5mm)



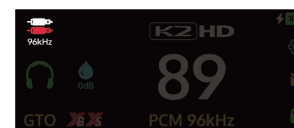
USB



Bluetooth



S/PDIF



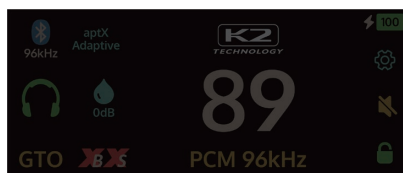
ライン
(4.4mm／3.5mm)

※オーディオソースの入力モードに応じて、入力チャンネルを選択してください。たとえば、USB入力を使用する場合は、入力チャンネルを「USB」に切り替える必要があります。

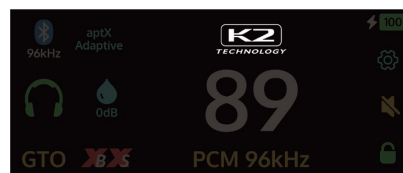
「K2 Technology」、「K2HD」設定(長押し)

iDSD GR 2は、JVCKENWOODの「K2テクノロジー」と「K2HD」を搭載し、変化や劣化が生じたデジタル音源をオリジナルのマスターと同等の音質に復元することで、高音質を実現しています。

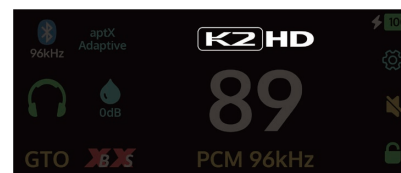
ボタンを長押しするか、「K2」アイコンをタップして、以下のオプションから選択してください。



オフ



K2モード



K2 HDモード

K2モード



特長

JVCKENWOODの「K2テクノロジー」の総称であり、ここではアップサンプリングを行わないK2テクノロジー処理を指す。

「K2」モードで対応しているオーディオファイル形式は、サンプリング周波数44.1～96kHzのPCMです。PCMオーディオのサンプリングレートが96kHzを超える場合、「K2」モードは適用されず、自動的に「K2HD」モードに切り替わります。



「K2HD」モードで対応するオーディオファイル形式は、サンプリング周波数44.1～192kHzのPCMであり、PCM 176.4kHz以下のオーディオファイルを176.4/192kHzにアップサンプリングすることができます。「K2」および「K2HD」モードは、ネイティブのDSDオーディオファイル形式とは互換性がありません。再生するオーディオファイル形式がDSD形式の場合、「K2」および「K2HD」モードを有効にすることはできません。

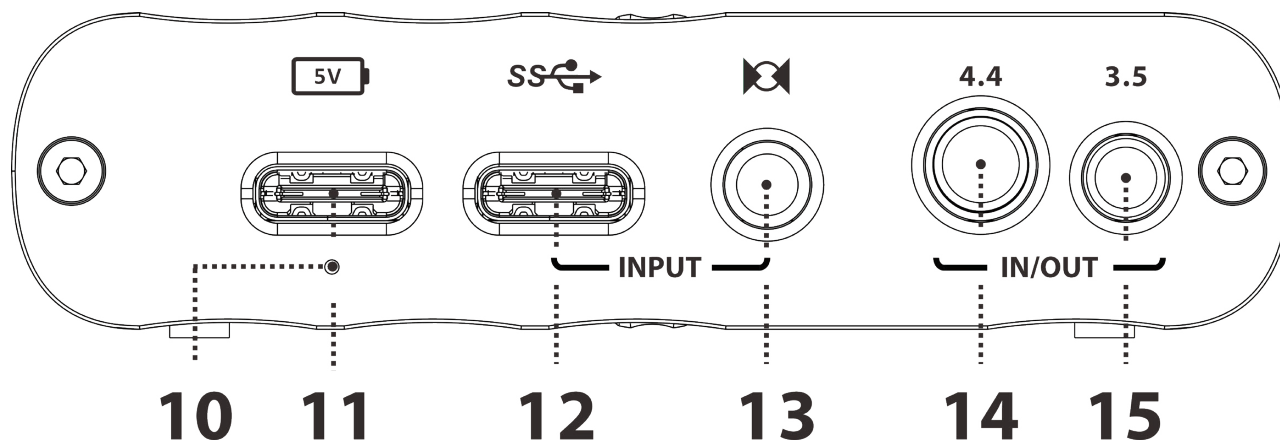
「K2HD」モード = K2+GTOアップサンプリング

※「K2」モードが有効になっている場合、再生されるオーディオのサンプリングレートが96kHzを超えると自動的に「K2HD」モードに切り替わり、再生されるオーディオのサンプリングレートが96kHz以下の場合には自動的に「K2」モードに戻ります。

※「K2HD」モードでは、GTOデジタルフィルターのみがサポートされています。「K2HD」モードとGTOフィルターが同時に有効になっている場合、GTOフィルターのサンプリング周波数は176.4/192kHzとなり、再生オーディオのサンプリングレートが176.4/192kHzを超えると、デジタルフィルターは自動的にビットパーフェクトに切り替わり、「K2HD」モードは自動的に無効になります。「K2HD」モードが有効になっていない場合、GTOフィルターのサンプリング周波数は352.8/384kHzとなります。

「K2」モードとGTOフィルターが同時に有効になっている場合、「K2」モードは自動的に「K2HD」モードに切り替わり、オーディオは176.4/192kHzにアップサンプリングされます。再生オーディオのサンプリングレートが176.4/192kHzを超えると、「K2HD」モードは自動的に無効になります。再生オーディオのサンプリングレートが176.4k/192Hz以下の場合、「K2HD」モードは自動的に復元されます。

※「K2 TECHNOLOGY」および「K2HD」は、JVCKENWOOD Corporationの商標または登録商標です。



10. バッテリー状態LED

LED	モード
緑	49%以上
黄色	49%
赤(点滅)	20%

※充電中はバッテリー状態LEDが点滅し、フル充電になるとLEDが消灯します。

11. USB-C (5V) 充電入力端子

充電専用です。iDSD GR 2は消費電力が非常に大きいため、標準的な充電器では約7～8時間、高出力充電器では約3～4時間でフル充電されます。

※iDSD GR 2の電源がオフの状態で、5VのUSB電源が検出されると、LEDの色が変わり、充電の状態を示します(次のセクションを参照)。

※iDSD GR 2は電源を切った状態で充電することをお勧めします。そうしないと、以下の2つの状況が発生する可能性があります。

- ・充電中に音楽を聴くことは可能ですが、音量レベルや使用しているヘッドホンによっては、充電に時間がかかる場合があります。
- ・iDSD GR 2を充電しながら使用していると、本体が少し温かくなることがあります。これは正常な現象ですので、ご心配はいりません。

12. USB-Cデータ入力端子

主にデータ転送に使用されるUSB-C入力端子を使用すると、USB-Cケーブルを介してオーディオソース機器をiDSD GR 2に接続できます。また、メニューの「デュアルチャージ」オプションから、以下の2つのモードを設定することも可能です。

モード	状態
オフ	このポートはデータ入力のみに対応しています。
オン	このポートは、1本のUSB接続で充電とデータ入力の両方に対応しています。

※メニューで「デュアルチャージ」機能を有効にすると、USB-Cデータ入力でもデバイスの充電が可能になりますが、充電電流は制限されます。より高速な充電を行うには、専用のUSB-C (5V) 充電入力(11)を使用することをお勧めします。

※Windows PCやノートパソコンに接続する場合、ビットパーフェクトな再生を確保するためにドライバーが必要になる場合があります。

※必要なドライバーおよび最新のファームウェアアップデートについては、公式サイトをご参照ください。

13. S/PDIF 3.5mm同軸/光入力端子

USBを使用しない場合は、同軸ケーブル(3.5mm TS)または、Toslinkから3.5mmミニプラグへの変換アダプターを介して光ケーブルを接続してください。

※Toslink光ケーブルを接続するための、3.5mm光ミニプラグからToslinkへのアダプターが同梱されています。

※S/PDIF規格では、PCMは最大192kHzまでしかサポートされていません。

14. バランス型4.4mmライン入出力端子

a) 出力：入力モードが S/PDIF、USB、または Bluetooth の場合。

b) 入力：S/PDIF、USB、または Bluetooth 入力がない場合、4.4mm ライン入力を利用可能です。

※固定ライン出力モードでは、4.4mm から XLR またはその他のバランス型接続ケーブルを介したアナログ出力が使用可能です。これを使用して、音量調節機能を備えたアクティブスピーカーやアンプに接続できます。

※ライン出力モードでは、この4.4mmコネクタからの音量は固定されています。音量調節やヘッドホンアンプの設定は、この音量に影響を与えません。この出力端子に4.4mm ヘッドホンを接続しないでください。最大音量により、ヘッドホンや聴覚に損傷を与える恐れがあります。

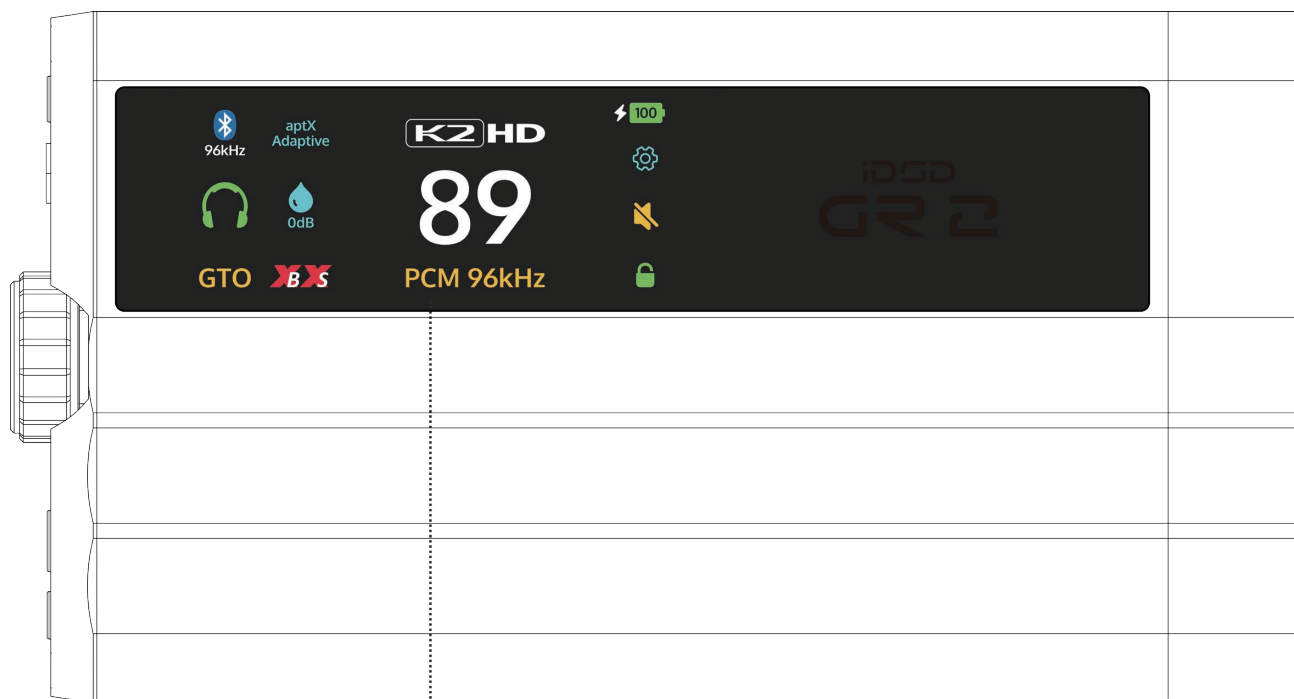
15. シングルエンド3.5mmライン入出力端子

a) 出力：入力モードがS/PDIF、USB、またはBluetoothの場合。

b) 入力：S/PDIF、USB、またはBluetooth入力がない場合、シングルエンド3.5mmライン入力を利用可能です。

※固定ライン出力モードでは、3.5mm > XLRまたはその他の接続ケーブルを介したアナログ出力が使用可能です。これを使用して、音量調節機能を備えたアクティブスピーカーやアンプに接続できます。

※ライン出力モードでは、この3.5mmコネクタからの音量は固定されています。音量調節やヘッドホンアンプの設定は、この音量に影響を与えません。この出力端子に3.5mm ヘッドホンを接続しないでください。最大音量により、ヘッドホンや聴覚に損傷を与える恐れがあります。



16

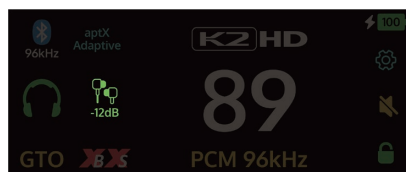
16. OLEDディスプレイ

OLEDディスプレイには、オーディオフォーマット、サンプリングレート、電源モード、デジタルフィルター、K2/K2HD設定、音量、入力モード、XSpace/XBass+、およびバッテリー残量が表示されます。

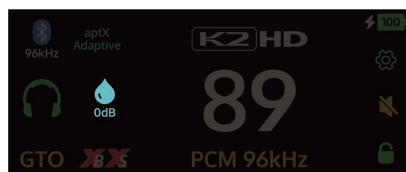
画面上の該当するアイコンを直接タップすることで、モードや設定を切り替えることができます。

17. 電源モード

アイコンを長押しし、スワイプして対応するアイコンを選択すると、以下のドライバーモードのオプションから選択できます。



iEMatch -12dB



Normal 0dB



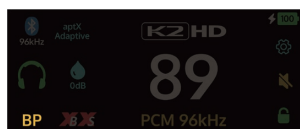
Turbo +6dB

iEMatchは出力レベルを-12dBまでシームレスに低減するため、最も感度の高いインイヤーモニター(IEM)でもiDSD GR 2で使用可能です。

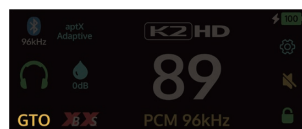
iEMatchは、アンプのバックグラウンドヒスを低減することで、感度の高いIEMのダイナミックレンジを効果的に拡大します。

18. デジタルフィルターモード

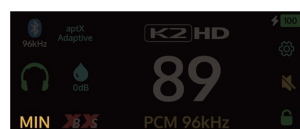
ディスプレイアイコンを短く押すと、以下のデジタルフィルターオプションが順に切り替わります。



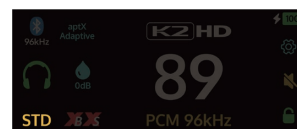
ビットパーフェクト



Gibbs Transient
Optimised



最小位相



標準

「BP」(ビットパーフェクト)

ビットパーフェクト、デジタルフィルタリングなし

「GTO」(Gibbs Transient Optimised)

352/384kHzにアップサンプリング、最小限のフィルタリング、プリリングングなし、ポストリングングを最小限に抑える

「MIN」(最小)

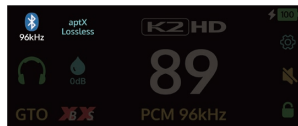
最小位相、緩やかなロールオフ、プリリングングおよびポストリングングを最小限に抑える

「STD」(標準)

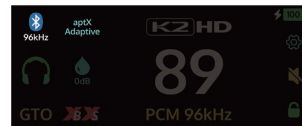
適度なフィルタリング、適度なプリリングングおよびポストリングング

19. Bluetoothコーデック

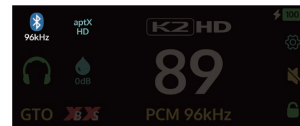
iDSD GR 2は、aptX Lossless、aptX Adaptive、aptX HD、aptX、LDAC、LHDC/HWA、AAC、SBCを介してBluetooth信号を受信します。



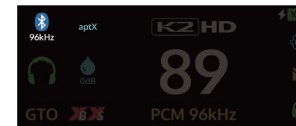
aptX Lossless



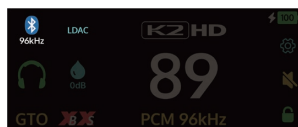
aptX Adaptive



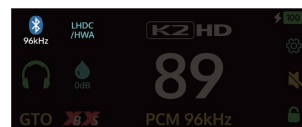
aptX HD



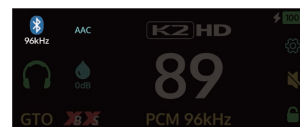
aptX



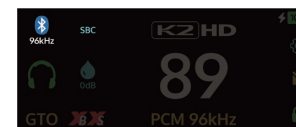
LDAC



LHDC/HWA



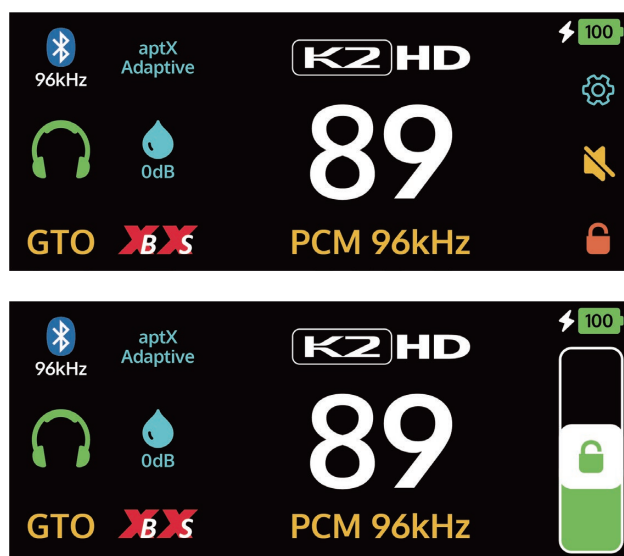
AAC



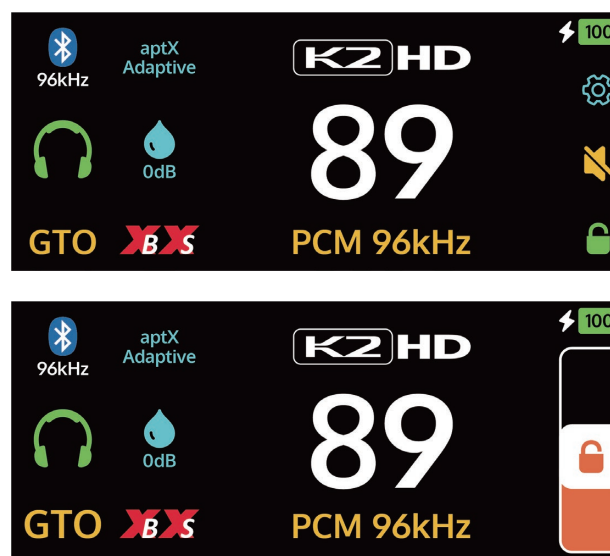
SBC

20.デバイスのロック

ロックアイコンを長押しして上にスワイプすると、ロック／ロック解除ができます（デバイスがロックモードまたはロック解除モードの場合）。これにより、移動中や通勤中に誤って音量ノブを回したり、機能ボタンを押したりして、音量や設定が突然変更されてしまうのを防ぐことができます。ディスプレイ(9)には、デバイスのロック画面が表示されます。



ロック解除
(デバイスがロックモードの場合)



ロック
(デバイスがロック解除モードの場合)

※デバイスロックが有効になっていると、すべての操作がロックされ、操作できなくなります。iDSD GR 2を操作する必要がある場合は、まずデバイスロックを解除してください。

iFi Nexisアプリを使ってiDSD GR2をセットアップ



“iFi Nexis”



Nexisアプリをダウンロードして、追加機能と将来のアップデートをお楽しみください。

iFi Nexisアプリ内で「iDSD GR2」と検索してください。

iFi Nexisアプリを使えば、OTAアップデート*など、iDSD GR 2のすべての機能や設定を活用できます。デバイスはUSBまたはBluetoothで接続できます。

*OTA(Over the Air download technology)は、ファームウェアのアップグレードパッケージをダウンロードし、ネットワーク経由で自動的にアップグレードを行います。

注意事項

1. 極端な高温、低温、湿気を避けてください。
2. iDSD GR2を落したり、押しつぶしたりしないでください。
3. 不快感や痛みがある場合は、音量を下げるか、一時的に使用を中止してください。
4. 聴覚障害を防ぐため、長時間大音量で聴かないでください。
4. 多くの音楽再生ソフトウェアやオペレーティングシステムは、音量制御に関する工業規格(ヒューマンインターフェースデバイスのUSBデバイスクラス定義など)を適切に適用していないため、オーディオを再生する前に必ずイヤホン、ヘッドホン、またはスピーカーの実際の出力音量を確認してください。不安がある場合は、音楽を再生する前に、iDSD GR 2の「Volume Sync」機能をオフにし、音量を最低設定まで下げてから再生してください。

長時間の熱暴露

iDSD GR 2は、通常の使用中に非常に熱を持つことがあります。これは心配する必要はありませんが、使用中は、硬く、安定して風通しのよい作業台の上に置いておくことが重要です。

■仕様

デジタル入力	: USB-C ; S/PDIF (光 / 同軸) ; Bluetooth 5.4™
アナログ入力 / 出力	: バランス4.4mm ; シングルエンド3.5mm
ヘッドホン出力	: バランス4.4mm ; S-Balanced*3.5mm
アナログ出力	: バランス4.4mm ; シングルエンド3.5mm
電源 / 充電	: USB-C
ハイレゾ対応	: PCM 768kHz ; ネイティブ DSD512 (22.6MHz)
Bluetoothフォーマット	: aptX Lossless、aptX Adaptive、aptX HD、aptX、LDAC、LHDC/HWA、AAC、SBC
DAC	: Burr Brown製ビットパーフェクトDSD & DXD DAC

ライン出力セクション

ライン出力

バランス : 4.4mm

シングルエンド : 3.5mm

出力

バランス : 最大4.37V(固定)

シングルエンド : 最大2.20V(固定)

出力インピーダンス

バランス : $\leq 205\Omega$

シングルエンド : $\leq 105\Omega$

SN比

バランス : $\geq 115\text{dB(A)}$ @0dBFS

シングルエンド : $\geq 115\text{dB(A)}$ @0dBFS

DNR

バランス : $\geq 115\text{dB(A)}$ @0dBFS

シングルエンド : $\geq 115\text{dB(A)}$ @0dBFS

THD + N

バランス : 0.0005% @0dBFS (20~20kHz)

シングルエンド : 0.0005% @0dBFS (20~20kHz)

ライン出力セクション

ヘッドホン出力

バランス : 4.4mm

S-Balanced* : 3.5mm

出力電力

バランス (RMS) : $\geq 6.94\text{V}/1,513\text{mW}$ @32 Ω ; $\geq 8.60\text{V}/119\text{mW}$ @600 Ω

S-Balanced* (RMS) : $\geq 4.26\text{V}/567\text{mW}$ @32 Ω ; $\geq 4.27\text{V}/30\text{mW}$ @600 Ω

出力インピーダンス

バランス : $\leq 0.4\Omega$ (iEMatch使用時は $\leq 4.5\Omega$)

S-Balanced* : $\leq 0.2\Omega$ (iEMatch使用時は $\leq 4.4\Omega$)

SNR

バランス : $\geq 115\text{dB (A)}$ @0dBFS

S-Balanced* : $\geq 115\text{dB (A)}$ @0dBFS

DNR

バランス : $\geq 115\text{dB (A)}$ @0dBFS

S-Balanced* : $\geq 115\text{dB (A)}$ @0dBFS

THD + N

バランス : $< 0.006\%$ (2.40V @16 Ω) (20~20kHz)

S-Balanced* : $< 0.006\%$ (1.27V @16 Ω) (20~20kHz)

一般

周波数特性	: 20Hz～45kHz (-3dB)
消費電力	: Turbo 2.89W ; Normal 2.37W ; iEmatch 2.37W
バッテリー	: リチウムポリマー 4,900mAh ; バッテリー駆動時間 約7時間
電源システム	: 5V/≥1.8A、USB-C経由で充電 ; 充電時間 約3.5時間
外形寸法	: 141×75×19mm
重量	: 268g
保証期間	: 12ヶ月**

*シングルエンド対応バランス出力。

**標準的な12ヶ月間、または地域の再販業者法によって許可/要求された期間。

仕様は予告なく変更されることがあります。

*LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。

*Qualcomm aptXおよびSnapdragon Soundは、Qualcomm Technologies, Inc.および／またはその子会社の製品です。

Qualcomm、Snapdragon、およびSnapdragon Soundは、Qualcomm Incorporatedの商標または登録商標です。aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の商標です。

*「K2 TECHNOLOGY」および「K2HD」は、JVCKENWOOD株式会社の商標または登録商標です。

ifi